

# 岩津ねぎだより

令和3年5月28日  
岩津ねぎ産地協議会生産支援チーム

平年より早く梅雨入りしました。谷に水が溜まっている育苗ほ場が散見されますので、排水対策に努めます。また、苗が徒長しやすいので、生育状況を見て降雨のない時に早めの剪葉作業や、大雨が予想される場合は、寒冷紗で対策しましょう。

また、梅雨の合間に本田の準備をしましょう。本田の周りに額縁明渠等の排水溝を必ず設置し排水対策を徹底します。

今年はほ場準備が遅れています。育苗期間が長くなる場合は、必ず追肥を実施して、苗の老化防止に努めます。

## 1 梅雨の合間に本田の準備

平年より21日早い5月16日頃に梅雨入りしました。また、大阪管区気象台発表の1ヶ月(5月22日～6月21日)予報では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないことが予想されています。梅雨の合間を見て、本田の準備をしましょう。

### ① 排水対策の徹底

ねぎは過湿に非常に弱い作物です。本田の周りに額縁明渠等の排水溝を必ず設置し、水が溜まらないように排水対策を徹底します。

### ② 改良資材の施用・耕耘

定植1ヶ月前までに酸度矯正のため、セルカまたは苦土石灰を100kg/10a、BMようりんを40kg/10a施用し、耕耘して土を細かく砕いておきます。

## 2 今後の育苗管理

### (1) チェーンポット苗

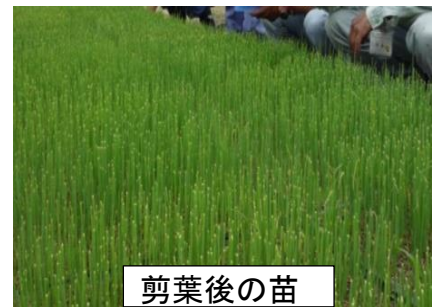
#### ① 剪葉の実施

〈目的〉苗を太くする、徒長防止、作業性の向上。

〈時期〉苗の草丈が20cm以上となり、倒伏が始まった頃。

〈程度〉短くしすぎると生育が遅くなるので、12cm以下にしない。定植時は15cm以上を確保。

〈回数〉生育状況を見て数回実施する。



剪葉後の苗

#### ② 追肥の施用

播種後1ヶ月が過ぎ、葉色が薄い場合は、燐硝安加里S604を1トレイ当たり20g散布します。

また、定植2週間前に発根促進のため、液肥を500倍に薄めて施用します。

#### ③ 灌水の実施

苗と培土の状況をよく観察し、乾燥している場合は灌水をします。



乾燥による葉先の枯れ

## (2) 地床育苗

- ① 播種床で密生している所は、草丈が 25cm になるまでに、数回に分けて間引き作業を実施します。最終目標本数は、播き溝 1 m 当り 80~100 本になるように作業します。
- ② 播種後 1 ヶ月が過ぎ、葉の色が薄くなれば、燐硝安加里 S604 または P K セーブ 488 を 1 a 当り 2 kg 散布する。急激な施肥は肥料焼けの恐れがあるため気をつけます。

## (3) 病害虫防除

今後は高温・多湿の影響から病気の発生が予想されます。予防を中心に病害虫防除を実施しましょう。

### <近年発生の多い病害>

「べと病の病斑」 右は、霜状のかびの様子



「さび病」の病斑  
赤い胞子が発生



「疫病」の病斑  
不正形の白色斑



※ 防除は防除暦を参照してください

## 【トピック】:近年問題となっている害虫(ネギアザミウマ)

近年、ネギアザミウマの吸汁被害が多く発生しています。また、被害が多いほ場では、本種が媒介するアイリス黄斑ウイルスによるネギえそ条斑病も発生しています。

【ネギえそ条斑病の病斑】  
葉身に不明瞭な退緑斑が発生し、その後淡黄色～白色のえそ条斑を生じる。



ネギアザミウマの汁吸痕(白斑)

### 葉身部の商品価値が低下するため、対策を徹底しましょう

- ① ほ場周辺の除草を徹底する  
アザミウマは広食性のため、周辺雑草が発生源となることが多いです。ほ場周辺の管理ができていないと、せつかく防除をしても周辺雑草から次々に侵入してきます。
- ② 初発時の防除を心がける  
多発してからの防除は困難です。黄色粘着板等用いて初発の確認をしましょう。
- ③ 薬剤抵抗性発達回避のため、同一系統の薬剤を連用しない  
同一系統の薬剤を連用すると、効果が低くなります。

<問合せ先>

和田山営農生活センター：672-4800 山東営農生活センター：670-7744  
朝来営農生活センター：670-4341 朝来農業改良普及センター：672-6886